

マツゲン連覇へ快勝発進

2年ぶりの開催で、2球場で開催した。前回優勝のマツゲン箕島硬式野球部は、先発の

【入部】 午後8時

第45回全日本クラブ野球選手権大会第1日

(29日) 長良川球場ほか

朝へ好発進した。大会10度の優勝を誇る全足利クラブなども2回戦に進出した。



ハオールいわきクラブ・マツゲン箕島硬式野球部V5回1失点の投球で勝利に貢献したマツゲン箕島硬式野球部・松尾

▽1回戦
マツゲン箕島硬式野球部(西近畿)
522 0100 110
オールいわきクラブ(東北)
100 0000 110
(マ) 松尾、藤本勇、安達、藤本大、水田
(オ) 前田、渡辺竹、大西

マツゲン箕島硬式野球部が連覇に向けて好発進した。先発の松尾が5回を被安打4で1失点。「初回に点を取ってもらったので楽に投げられました」。15年夏に鳥羽のエースとして甲子園に出場した右腕。序盤に相手の直球狙いを察すると、緩いカーブを効果的に交えて凡打の山を築い

た。4回2死無走者から二塁打を許したが、直後にけん制で刺すなど冷静なマウンドさばきも光った。

打線は3回まで毎回の9得点。8点優勢の5回無死一塁からは犠打で走者を進め、黒岩の適時打で10点目を挙げた。箕島で77年選抜大会に優勝した西川忠宏監督(60)は「点差が開くとだらけてしまう。食欲に次の1点を狙う、次の打者につながる」という、恩師の尾藤(公)さんの教えです。過去5度の優勝を誇る

が、連覇は未経験。悲願に向けて隙はない。
(石丸 泰士)
圧倒も油断なし